




# Hi! from SAGA

Summer 2020 Vol. 4 

## トピック

-  佐賀大学のコロナウイルスの近状
-  ソーシャルディスタンスを保ちながらの活動：英会話コミュニティ
-  SUISA 創設者へインタビュー



# 佐賀大学のコロナウイルス近状

私たちのメールボックスは、佐賀大学からのコロナウイルス最新情報に関わるメールで溢れています。この大量のメールの情報についていくのは、日本語のメールを読むのに苦労する留学生だけでなく、日本人学生も苦労していることでしょう。

10月1日に始まる後学期でも、オンラインの授業が続くようですが、感染拡大防止策を十分に講じたうえで対面授業も一部の科目で実施されるようです。

ですから、受講している科目、特に研究室に行く必要がある授業や最初の年の授業で、教授が対面授業を実施するかしないかという情報を見逃さないようにしなければいけません。

佐賀大学では、学期ごとに1回、年に2回健康診断を実施しています。

学生は少なくとも一年に一回は健康診断を受けなければいけません。

今年の前学期では、健康診断はコロナウイルス第二派の影響によって延期になりましたが、7月29日に健康診断は再開されました。留学生対象の健康診断は8月24日に開催されました。

日本人学生の健康診断のスケジュールはこのリンクから確認できます。

<http://www.suhcc.saga-u.ac.jp/>

もしクラブ活動に参加している場合、より厳重な注意を払う必要があります。

運動部でも文化部でもマスクを着用し、3密を避ける工夫が必要です。

クラブ活動で重要なことの一つは親睦を深めることですが、

このような時期には飲み会などは避けなければなりません。

レストランやカフェ、居酒屋などから多くの人々がコロナウイルスに感染しています。

ある大学からクラブ活動中に、5人の学生がコロナウイルスに感染したことを忘れてはいけません。

最後に、佐賀県のコロナウイルス状況の最新情報を確認したいときは、このリンクから佐賀大学医学部のウェブページを確認することができます。ここでは、佐賀のコロナウイルス感染状況を確認できるほか、アルコールによる正しい消毒方法、正しい手の洗い方も紹介しています。

<https://www.med.saga-u.ac.jp/video/800-27-igakubu-gyouji-video.html>



# ソーシャルディスタンスを保ちながらの活動：英語会話コミュニティ

通常、佐賀では夏季に様々な催し事があります。通年では授業の後に、友人と花火大会に行くことを話したりします。日本語の授業の教授たちは毎年、バルーンフェスタの開催日が近づいていることをお知らせしてくれます。そしてバルーンフェスタの後には唐津くんちを観に唐津に行きます。しかし今年はコロナウイルスの影響で、これらはすべて中止になっているようです。小規模のイベントでさえ中止になっているようです。しかし幸運にも、オンラインで行える代替りの小さなイベントがあります。イベントの目的は人々にオンライン上で話すごとです。

この記事に、そのようなオンラインイベントの一つの例として英語会話コミュニティを紹介します。この英語会話コミュニティではどの年代の人も対象に無料で英語レッスンを行っています。アメリカのカリフォルニア出身のALTである Steve Nguyen 先生主催で、ロールプレイや会話、楽しいゲームを通じて英語を学ぶことができます。みんなは彼のことを“Steve (スティーブ)”と呼びます。コロナウイルス感染が広まる前は、英語レッスンは通常金曜日の夕方に、佐賀インターナショナルプラザで開催されていて、様々な年代、職業、いろんな国出身の方々が参加していました。



英会話コミュニティのオンラインミーティングの様子

自粛期間が始まってからは、この英語会話コミュニティは月に1、2回オンラインで開催されているようです。オンラインの英語レッスンは固定した時間日付ではなく、ライングループで話し合い、なるべく多くの人が集まれる日に開催しているようです。対面での英語レッスンでは通常20人ほどの参加者人数でしたが、オンラインになってからは通常4人、多くて9人の参加者となり、少し賑やかさが減ってしまいました。しかし、楽しみは

変わらず、オンライン活動のことについて Steve はこのように話しています。「オンラインで話すことはとてもカジュアルで、英語や日本語のレベルに関係なく誰でもレッスンに参加できる。私たちは普段身の回りで起こった面白いことや、面白かった本、映画について話したり、絵や単語のゲームで遊んだりしている。」Steve にオンラインと対面での活動の違いについて尋ねた時に、彼はこのように言いました。「オンラインで自分の母国語以外の言語を聞くことは対面で聞く時よりも難しいので、より努力を必要とするが、よい点としては、オンラインレッスンは通常、小さいグループで行われるので、みんながより多く発言する機会がある。また、みんなが、話している人によく耳を傾けるので、大きな声で話す必要がない。」また彼は、グループメンバーと連絡を取り続けることができていると嬉しい、この活動がメンバーの自粛生活をより楽しくできていることが嬉しいと話して言いました。



英会話コミュニティの普段のミーティングの様子

# SUISA の創設者卒業インタビュー：ラミ・デルベル

8月の風も吹き、私たちの友人の卒業です。友人と離れるわずかなさみさと友人の卒業への感謝に満ちた気持ちが混ざっている季節です。今月、とうとう私たちの友人で SUISA とこのニュースレターの創設メンバーであるラミーさんが博士号プログラムから卒業しました。私たちはこの機会を利用して、卒業生の代表としてまた SUISA のメンバーとしてラミーさんにインタビューしました。

Q1. どのくらい佐賀にいましたか、またどのくらいあなたは SUISA のメンバーでしたか？

私は 2016 年の 4 月から佐賀に来て、SUISA の活動は 2017 年 10 月の歓迎会で始まりました。

Q3. 佐賀大学生や SUISA のメンバーとしてあなたにとって最も忘れがたい思い出は何ですか。

ひとつに絞ることはとても難しいですが、もし選ぶとしたら SUISA で開催したフェアウェルパーティーです。私には別れを告げる多くの親友がいたので、そのことが私に大きな影響を与えました。しかしその後私は、それは新しい冒険の始まりに過ぎないことを学び、そして旅行をする中で日本で出会った各国の親友たちの故郷で再会をすることができ、佐賀で私自身の国際的な経験値を高めることができました。でも、大学の国際交流仲間とのお別れはいつも辛いです。

最後に

ラミーさんに卒業おめでとうございます。彼が私たちにもたらした友好に SUISA 一同心から感謝したいと思います。

Q2. 長い間佐賀にいる者としてあなたが思うにあなたの 1 年目から最も変わったあなた自身自身のことについてはどう思いますか。

私が佐賀に来てから多くのことが私の人生の中で変わりました。私は研究を進めそして、もうすぐ博士課程を卒業します。しかし、一番重要な変化は私の人間関係でした。私は私がしたすべての経験のおかげで十分な成長ができたと考えたいです。私は先入観にとらわれた見方で人を見る事をやめたり、人の見た目を見ることよりはむしろその人の経験を聞くことを学びました。最後に、私は知らない人にもより優しくなったように思います。それゆえに、自分自身にも優しくなれました。

## 今後の学生に一言

私は来期にくる全ての留学生に挑戦することを伝えたいです。率先して新しい友達を作ることで、コミュニティの架け橋を築き、日本や国際的文化について多く学び主に自分自身について学ぶことができます。留学生たちは恐怖を克服したり、以前はできないと思っていた目標を達成したりします。大学の国際交流仲間と一緒に話したり、いろんな活動に参加したり、旅行を楽しんでください。そして、この経験から大きく成長してください。

ラミ デルベル



Edited by

ファラバー ビームマバット 工学系研究科 システム創世科学 博士課程一年  
松本 陽美 先進健康科学研究科 修士課程一年  
中島 暁月 芸術地域デザイン学部 芸術表現コース 三年  
高田 章太郎 経済学部経済学科 一年

Special Thanks to

ギル ジョーダン 編集のお手伝い感謝しております

